

# 高森高校進路通信 - Upgrade

R5 年度最終号

文責 進路指導部

## I. 令和5年度の振り返りと令和6年度に向けた取組



いよいよ、令和5年度も終わりを迎えようとしています。今年度を振り返ってみて、どのように過ごすことができましたか？残すところ一月を切りましたが、やるべきことやできることをしっかり見据え、令和6年度に向けて動き出していきます。

高森高校としては、今年度大きな変化がありました。その一つが、1年生からは普通科が普通科グローバル探究コースへ改編され、マンガ学科が新設されたことです。今後さらに両科が発展し、素晴らしい相乗効果を生み出していくことが期待されています。日々の活動を通して得られた経験や知識は、みなさんの将来の役に立つものばかりです。キャリアパスポートを見返し、次年度の目標を立ててみましょう。

## II. 進路実現に向けて

令和5年度の卒業生の進路実績（令和6年3月1日現在）は以下の通りとなっています。現在進行形で挑戦を続けている先輩もいます。最後の最後まで走りきってくれることを祈っています。みなさんの中には「自分が何をしたいのか、どんな進路が良いのか分からない、、、」という人も多くいるでしょうが、焦って決める必要はありませんし、希望はどんどん変わっていくものだと思います。しかし、高校生活が日々過ぎ去っていくことも意識しておかなければならないのも事実です。まだ、未確定なところが多い人こそ、勉強に、部活動に、ボランティア活動、探究活動に幅広く取り組んでおく必要があります。自分の将来像をなかなか描くことができない人は、春休み期間を利用して想像を膨らませてみましょう。厚生労働省が出している「職業情報提供サイト日本版O-NET」では、527の様々な職業について約90秒の動画で説明されています。いずれはみなさん就職することになると思います。その職業に関することや身につけておくべきスキル等も紹介されています。動画を見て、進路研究してみてください。

【令和5年度卒業生進路一覧】

国公立大学：宮崎大学農学部、熊本県立大学総合管理学部

私立大学：西南学院大学、熊本学園大学、崇城大学、尚絅大学

短期大学：大分県立芸術文化短期大学

専門学校：熊本県立農業大学校、熊本市医師会看護専門学校、熊本総合リハビリテーション学院、九州中央リハビリテーション学院、熊本歯科衛生士専門学校、芳澗女学院情報国際専門学校

就職：肥後銀行、日本梱包運輸株式会社、株式会社村田園、株式会社アートキャンディ



## III. 総合的な探究の時間（グローバル・プロデュース/商郷学）

それぞれが主体性を持って取り組んだ総合的な探究の時間もバラエティに富んだ地域活動を展開することができたと思います。各局の取組を一覧にしています。今後は局を越えた実践や活動アイデアの共有、一歩踏み込んだ地域活動に進化（深化）することを期待しています。

局	令和5年度の主な取組
観光局	パソコン教室、ふるさと納税返礼品ツアー企画、観光パップ作成、寄付Tシャツ制作の提案
振興局	My Earth 干潟 ver.作成、ドライフラワー装飾品制作ワークショップ、高森保育園、高森幼稚園での園児との交流・紙芝居作成、医療系職業パンフレットの作成
総務局	高菜バーガー開発・販売、米粉クッキー開発、駅弁開発、お菓子の香梅見学
産業局	オープンスクール高校紹介動画作成、TPC 配信番組制作・編集活動、地元飲食店のCM作成

その他、阿蘇ジオパーク学習、草原学習、ライフプランニング、阿蘇ロックフェスティバル、KSH 県立高校学びの祭典等、貴重な体験になるものばかりでした。

令和6年度7月の最終報告会に向けた取組で特に重要になってくるいくつかの要素のうち2つを紹介します。1つは、3月-春休み中の活動計画およびその実施です。長期休暇を利用して様々な活動に取り組むことができます。情報収集や分析といった観点からも、長期休暇中のようなまとまった時間をどれだけ有効活用できるかが重要なカギとなります。活動する各局、局長や局内の各リーダーを中心に計画的に活動をすすめていってください。もう1つが基礎学力の向上です。現在試験導入しているスタディサプリは3月中も利用可能です。アプリを利用して、家庭学習習慣の確立や基礎学力向上を図ってください。探究活動を通して得られた新たな仮説の検証や課題の設定、情報収集ならびに分析は、基礎学力が高いほどその質が向上します。また、本校の進学する生徒の受験方法別の割合は、約90%が総合型選抜や学校推薦型選抜を利用して受験しています。探究活動で培った能力に加え、近年は基礎学力を問うものを出題する上級学校が増えました。受験対策にフライングはありません！新年度、さらに成長したみなさんで高森高校を盛り上げていきましょう！！

## IV. 卒業列車 ～ 新しい景色へ それぞれの思いを乗せて ～



進路一覧にもあるように、3月1日に令和5年度の3年生はそれぞれの進路に向かって一つの区切りを迎えました。これまで描いてきた自分自身の将来像を、自分自身で積み重ねてきた努力によって形にし、自ら切り開いた新しい道へ力強い一歩を踏み出してくれたことでしょう。それまでの道のりには、家族や友人の支え、地域の方々のあたたかい御心遣いがありました。人生を考える時、進路を決断する時、勝負への不安と闘う時、成し遂げた喜びを共有する時、家族や友人の存在の大きさを改めて実感します。また、それぞれの局が課題解決を目指して行う探究活動においても、地域の方々や関連企業の方々の御協力は不可欠です。みなさんの学びや活動には、多くの人の思いも込められているのです。感謝の気持ちを忘れてはいけませんね。この卒業列車では、楽しい思い出とともに、そんな大切なことを学ばせてもらいました。1年生2年生が卒業列車に乗る機会がやってきた時、いつもそこに在った阿蘇の山々がどんな景色に見えるのか、レールの先に続くそれぞれの将来にどんな景色を見ているのか… 今から楽しみです！